

プレス・リリース

2003年8月7日

## BASF とダウ・ケミカル PO (プロピレンオキサイド)の新生産プロセスの開発を推進

BASF (本社ドイツ、ルートヴィヒスハーフェン)とダウ・ケミカル・カンパニーは8月6日、過酸化水素を主原料として使用するプロピレンオキサイド (PO) の製造技術 (HPPO プロセス) における共同推進において、著しい成果が上がったことを発表しました。

両社は2002年8月、研究活動において協力体制を築く旨を発表しており、それぞれの保有技術を相互評価した後、今年7月に共同開発契約に署名しておりました。

ダウのプロピレンオキサイド (PO) プロピレングリコール部門が属するダウ・サーモセツツのビジネス部門プレジデントを務めるボブ・ウッド氏は、次のように述べています。昨年、私たちは、世界規模のHPPO 施設に必要とされるプロセス技術において、著しい前進を遂げました。HPPO 施設では、副生成物を生み出すことなくプロピレンオキサイド (PO) を生産することが可能であり、現行の技術に比べて大幅な資本コストの削減となることが期待されています。

また、BASF 取締役であり、BASF のグローバルなポリウレタン事業部が属するプラスチック部門を統括するジョン・フェルドマンは、「この新しいプロセスを採用する事で、必要な基本設備とプラントの面積を最小限に抑え、比較的低い生産能力のプラントであっても、極めて高いコスト効率を実現することができます」と述べています。

BASF とダウは、2003年度中には試験的規模のプラントにおける研究を完了する予定であり、初の世界規模のHPPO プラントの設計も、同時に開始される予定です。両社は、30万トンの年産能力が見込まれるHPPO プラントを、早ければ2007年には操業できるよう、選択肢を検討しています。建設候補地としては、BASF とダウが米国及び欧州に保有する統合拠点が検討されています。

プロピレンオキサイド (PO) はポリウレタン、プロピレングリコール (PG)、中間体、難燃剤、合成潤滑剤、油田掘削用化学品、繊維用界面活性剤などの製造に使用されるものです。

BASF のインターネットホームページアドレスは、[www.basf.com](http://www.basf.com) です。BASF ジャパン (株) のインターネットホームページのアドレスは [www.basf-japan.co.jp](http://www.basf-japan.co.jp) です。

ダウ・ケミカルのインターネットホームページアドレスは、[www.dow.com](http://www.dow.com) です。

■ 本件についてのお問い合わせ先  
BASF ジャパン株式会社  
コーポレート・コミュニケーションズ 田所  
TEL : 03-3238-2341

BASF ジャパン (株)  
コーポレート・コミュニケーションズ  
住所 : 〒102-8570 東京都千代田区紀尾井町 3-3  
電話 : 03-3238-2376  
Fax : 03-3238-2514  
<http://www.basf-japan.co.jp>

+65 6432 3684 (Corporate Communications Asia Pacific)  
+49 621 60 9 99 38 (Corporate Media Relations BASF Group)  
E-Mail: [presse.kontakt@basf-ag.de](mailto:presse.kontakt@basf-ag.de)

